

達成度：R6.3.31 の自己評価

- 5 目標を完全に達成した。
- 4 目標を概ね達成した。
- 3 目標を一部達成した。
- 2 目標をほとんど達成できなかった。
- 1 目標をまったく達成できなかった。

こども課の目標（令和5年度）自己評価書

こども課長 伊藤 尚志

個別事業とその目標	達成度	目標達成の効果又は達成できなかった理由等
<p>1 学校施設設備の整備（庶務班）</p> <p>各小中学校の学校施設については、経年的老朽化が進行していることから、「学校施設長寿命化計画」に基づき維持管理するとともに、企画財政課（施設総合管理室）とも連携し、学校施設等の計画的な整備方法等について検討を行います。</p>	3	<p>具体的な学校施設の老朽化対策に取り組むためには、町の人口動態、財政状況等の環境変化を踏まえた事業計画を立案する必要がある事から、教育施設の整備に関する検討会を開催し、今後の学校施設のあり方について、公募型プロポーザル方式により候補者を選定しようとしたが、参加者がいませんでした。</p>
<p>2 高校生等医療費の助成（子育て支援班）</p> <p>令和5年8月より高校生医療（入院のみ）を始めます。子ども医療費助成については中学校3年生までを対象としていましたが、高校生等まで拡大し、助成することで保護者の経済的負担の軽減を図り、高校生等の保健の向上及び子育て支援体制の充実に努めます。</p>	4	<p>令和5年8月から高校生等医療費（入院のみ）の助成を開始し、4名の申請があり助成をした。</p> <p>令和6年度は高校生等医療費（通院）の助成開始に向けて準備を進めていきます。</p>
<p>3 地域子ども・子育て支援事業の推進（子育て支援センター）</p> <p>「子育て支援センターあいあい」を拠点とし、利用者の皆さんの安全・安心を最優先に感染症予防対策など徹底しつつ、専門的な知見と利用者目線の双方の視点から、切れ目のない支援を実施するため関係課との連携を図り、利用者が利用しやすい施設の運用に努めます。</p>	4	<p>地域子育て支援拠点事業として、外部講師や地域ボランティア等の協力によりイベントを実施することで施設利用者数が増加するとともに、それに伴い保護者同士の交流や地域での情報交換などに結びつけることができました。</p> <p>利用者支援事業で相談を受けた内容に関して、保健センターと情報を共有し連携を図ることにより、利用者の皆さま</p>

	<p>んの支援に繋げることができました。</p> <p>ファミリー・サポート・センター事業では、放課後の預かりや塾・保育園までの送迎が主な活動内容となっており、会員数・活動件数ともに昨年度より増加しました。</p> <p>【参考】</p> <p>*地域子育て支援拠点利用者(あいあい)延べ4,553人 (しょうえんこどもこそだてルーム)延べ1,102人</p> <p>*利用者支援事業 相談件数 511件 (巡回相談：保健センター乳幼児健診 年18回・しょうえんこどもこそだてルーム年1回実施)</p> <p>*ファミリー・サポート・センター事業 利用会員79名、協力会員23名、両方会員6名、実施件数108件</p>
--	--